

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	蓼科湖周辺の景観美化整備事業
事業主体 (連絡先)	蓼科観光協会 泉水直美 0266-67-2222
事業区分	環境保全・景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,029,644 円 (うち支援金: 1,500,000 円)

事業内容

1、蓼科芸術の森彫刻公園の間伐による森林整備

蓼科湖の湖周にある蓼科芸術の森彫刻公園は、うっそうとした雰囲気の中で暗く、特に葉の茂る夏は遊歩道からも作品が木々に隠れて見ることができないので、彫刻公園内の大木76本の間伐をし、森林整備した。

昨年も140本の間伐を実施したが、まだ不十分であったため本年も引き続き実施した。本年は彫刻公園の南部分を中心に間伐したため、南から太陽の光が森林内に注ぐようになった。

2、蓼科エコクラブの活動

蓼科住民や別荘のオーナーによる蓼科地域の景観美化や森林づくりを継続的に推進するために、昨年「蓼科エコクラブ」を創設した。

本年も募集を継続し、新たに8団体(個人)が加入し、26団体(個人)となり、次の活動をした。

- ① 伐採木の選別作業に6名参加。
- ② 茅野市農林課による森林整備の重要性を学ぶ講演・研修会を実施し、28名が参加。
- ③ 業者による間伐前のブッシュ刈り作業を実施し、16名が参加。
- ④ 間伐材の有効活用のための薪づくりを実施し、延べ62名が参加。
- ⑤ 更に、間伐材の有効活用のためのベンチづくりを実施し、延べ26名が参加。

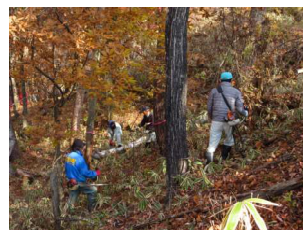
このように、各種作業に大勢の参加があり、その中で意思疎通ができ、継続活動・協力体制構築していこうとする意識付けとなった。

(活動写真)

- ・茅野市農林課による研修会



- ・森林ブッシュ刈り作業



- ・薪づくり作業



- ・ベンチづくり



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・ 蓼科芸術の森彫刻公園の間伐による森林整備では、特に大木やブッシュが密集していた公園の南部分を中心に、見積を上回る76本の間伐ができ、南側から太陽光が入り、遊歩道からも彫刻作品が見えるようになった。
- ・ 蓼科エコクラブの登録者は平成27年登録目標の団体を超え26団体(個人)となった。また、各種作業への参加目標を昨年比倍増の100人としたが、その目標も超える延べ110名の参加となった。更に、森林整備の重要性を学ぶ講演・研修会も開催し、28名が参加した。
多くの参加者がいることで、クラブ会員の意思疎通と協力意識が高まり、景観美化や森林整備をより推進していくことが可能となった。
- ・ 間伐材の有効活用として、薪づくりを実施し、自然エネルギーとして活用ができた。更に、間伐材でベンチづくりを自ら実施したことにより、その作品を介して、自然木の大切さを学ぶこともできた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

蓼科エコクラブの活動を継続し、平成28年春からも、蓼科湖周辺や、ベンチ設置場所周辺のゴミ拾いや草刈・植栽等の整備を実施し、更に、景観美化に取り組んでいく。

今後も、引き続き「蓼科エコクラブ」への参加登録を募集し、地域内の開発事業者等が行う間伐により排出される伐採木の提供も受け、自然エネルギーの活用の拡大をしていく。

【目標・ねらい】

- ① 遊歩道整備と森林の整備
- ② 伐採木76本の自然エネルギーの活用
更に、ベンチづくり等による有効活用
- ③ 蓼科エコクラブの組織拡大をし、自然エネルギーの活用の拡大。H28年⇒20団体以上を目標としていたが、30団体以上に拡大修正
- ④ 植樹や草刈等参加をH28年50人目標

※自己評価【 A 】

【理由】

予定を上回る参加があり、反響大であった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある